

富田林まちかどミュージアム・ミューラルについて

生涯学習課

本市の知名度向上やブランド力の向上を目的に今年度は「市民会館」の西側壁面にミューラルを制作しました。

第1期富田林市若者会議からの提案施策で富田林市に新たなシンボルや観光拠点としてミューラルを設置したい。将来的には御朱印巡りのように複数のミューラルアートを巡るウォーキングイベントをやりたいとの若者の意見を受けて始まった企画です。

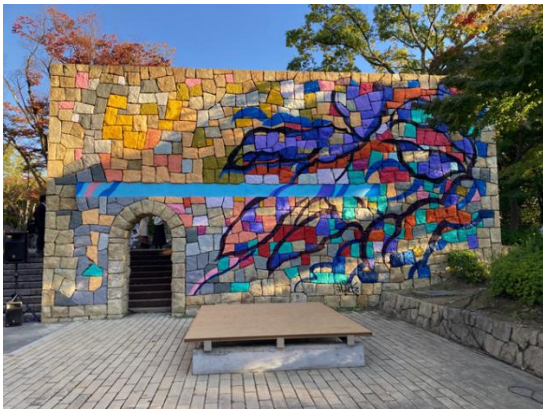
第1作目は令和4年の秋に金剛東中央公園内の壁に、第2作目は今年2月に近鉄富田林駅の南側ロータリーバス停に制作したところです。

そして第3作目のミューラルが、市民会館の西側壁面に完成しました。

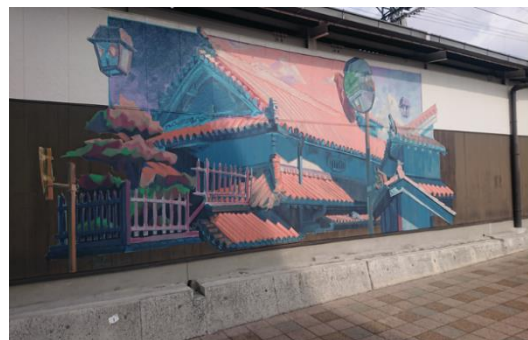
絵のテーマにつきましては、地元小学校（喜志小学校5年生）で開催したワークショップにより子どもたちの意見を引き出す形で実施しました。

この度、ミューラルアートの完成報告及び地元小学生を対象としたワークショップを開催いたしました。

第1弾 金剛東中央公園（令和4年度）



第2弾 富田林駅南側（令和5年度）



第3弾 市民会館西側壁面（令和6年度）

近鉄の線路の高架工事により、このミューラルは電車の車窓や横の道路からも眺められます。



喜志小学校 5 年生とのワークショップの様子





粟ヶ池の竜伝説

粟ヶ池には面白い伝承があると聞きました。それは粟ヶ池には、もともと雄の竜が住んでいたそうで、狭山池に住む雌の竜の元に、毎晚会いに行っていたそうです。（別の伝承では雌の方が粟ヶ池まで会いに行ったとも）

現在の地図で粟ヶ池と狭山池の位置関係を見ました。伝承によれば、粟ヶ池の竜は、羽曳野丘陵 PL 教団の敷地内を通過して、堺市美原区の木材団地の横を、藤沢台や五軒家を通過して狭山池に住む竜に会いに行ったことになります。

当時は住宅地などありませんが、それでも村があつてそれらの田畑を竜が通過するたびに荒らされてしまうので、村人たちは困り果てます。

退治しようにも相手は大きいですし、倒したとしてもその後に祟りが起きるかもしれないと村人たちは躊躇（ちゅうちょ）しました。

そこで粟ヶ池の雄の竜に狭山池に住んで貰おうと狭山池に祠を立てました。その結果、毎晩竜が移動することなく、夫婦の竜が狭山池で仲良く暮らしたそうです。

粟ヶ池の北側、レインボーホールの隣には竜神社があり、和爾神が祀られていますが、この神様こそかつて粟ヶ池に住んでいた竜神だったそうです。

また鳥居の手前に記載されていますが、美具久留御魂神社の祭神である大国主命荒魂が、実は和爾神と同一だったので、別宮として祀っているようなことが書かれていました。

粟ヶ池と狭山池の関係がますます気になりますね。

そんな伝承のことが頭の片隅にあったのか、先日近くに行く機会があったので、狭山池に立ち寄ってみました。あそこの竜神社のところには、夫婦の竜が住むとされる竜神淵があります。

「奥河内からの情報発信」より

見ながら描こう！ ミューラルを



参加費
無料

巨大なアート制作を見て
オリジナルの作品をつくるアートワークショップです！

2024

10.26

土

13:00～15:00

受付時間12:45*雨天決行

- ・対象：喜志小学校、喜志西小学校（小学校1年生～3年生）保護者見学可
- ・事前予約制となります。QRよりご申込受付をお願いします。（先着順/定員あり）
- ・汚れても良い服装でお越しください
- ・場所：レインボーホール（富田林市市民会館）
- ・問い合わせ先：富田林市教育委員会 生涯学習課
富田林市常盤町16-11（0721-26-8056）
- ・当日は正面玄関前にお集まりください。



参加URL

主催：富田林市（運営：WALL SHARE株式会社）

